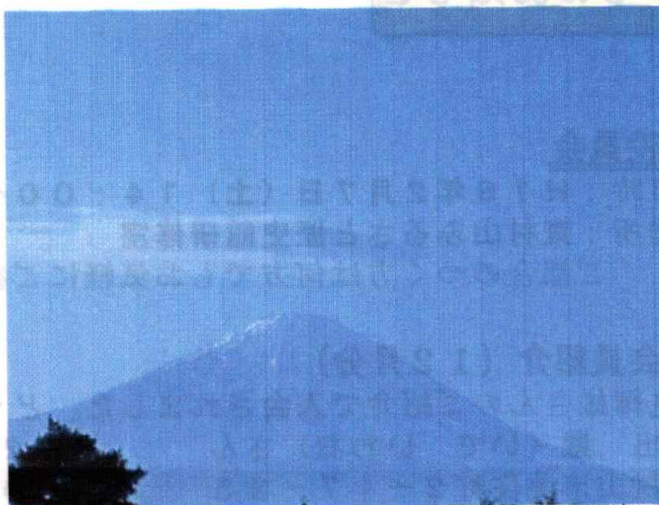




謹賀

新年



(新年平穏 2004.1.2)

年頭のごあいさつ

会長 山下 邦康

あけましておめでとうございます。

昨年は多事多難な中、あわただしく終わりました。問題の解決も新年に持ち越された感があります。けっして日和見ではありませんが本年は穏やかな一年を迎えたい思いにかられます。

さきほど校友会資料で東村山に在住の校友のリストを見てあらためてその数の多さに驚きました。総数およそ960名におよび市内のどの町にもお仲間がおられます。(平成12年3月卒業者までの数字)

そのうち稲門会にまだ未加入の方も740名ほどで、例えば秋津町には77名の未加入者、秋津5丁目だけで24名の未加入者、久米川町は60名、3丁目だけでも14名の未加入者、さらに萩山地区では108名、2丁目だけで30名の方が未会員として残されています。私たちの手の届く身近にこれだけの校友が共に住んでおられます。

稲門会の楽しさや喜びを自分だけのものとせず、ぜひ彼らにも分かち味わってほしいものです。

どうぞお近くの校友にひと声かけて、私たちのお仲間に入るようお誘い下さい。皆様の積極的な呼びかけで親睦の輪をさらに広げ、親睦の樹を大きく豊かに育ててゆこうではありませんか。

新年にあたり、皆様方にいっそう幸多からんことを期待いたします。

市内在住校友に関するお問い合わせは事務局までお願い致します。

会からのお知らせ

○定例役員会

日時：H16年2月7日（土）14：00～

場所：東村山ふるさと歴史館研修室

ご都合のつく方は何方でもお気軽にご参加下さい。

○新入会員紹介（12月分）

小亀輝雄さんのご紹介で入会されました。どうぞよろしく。

井出 巖（いで いわお）さん

S26政経

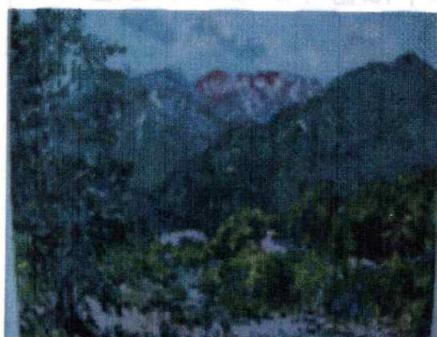
東村山市美住町2-17-25

TEL 042-391-6443

○会員消息

・鍋島高明さん（S34政経）はこのほど著書「相場師奇聞」（河出書房新社刊）を出版されました。

1年前に出版された「相場師異聞」に続く古今東西の相場師評論です。



（案内はがきから）

・一色泰久さん（S44文）は

1月4日（日）～10日（土）有楽町の東京交通会館B1Fギャラリー玻璃に於いて、第14回の個展を開催されました。

【事務局便り】

2004年1月1日現在 町別会員数

萩山町	31	富士見町	27	秋津町	26	恩多町	22
諏訪町	18	多摩湖町	15	青葉町	14	美住町	14
野口町	12	栄町	12	久米川町	11	廻田町	5
本町	2	市外	10	合計	219		

訃報

山室勲さん（S31理工 萩山町）の御尊父様が12月10日に逝去されました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

規程に沿って弔電及び生花一基を供えさせていただきました。

同好会だより

旅行同好会

世話人 風間 和夫 TEL 394-5279
小 亀 輝雄 394-6951

〇塩原温泉一泊 いよいよ参加者募集

(東村山発・東村山着です)

12月のニュースでお知らせ致しました旅行会の計画が正式に決定しました。
多数の皆様のご参加をお待ちしております。ご家族の参加も歓迎します。

記

旅行日 平成16年5月20日(木)～21日(金) 1泊
行き先 那須塩原温泉
宿 泊 和泉屋旅館(14代当主田代芳寛氏には7月の雑学講座に講師と
してお出で頂き我々の訪問をお待ち頂いています)

費用 16,000円程度(実費精算)

出発・帰着

東京交通のマイクロバスで往復し、出発・帰着は東村山駅及び
市内主要地点を回ります。(参加者に別途通知します)

塩原までの所要時間は片道3時間30分程です

出発は12時頃、帰着は夕方4時頃を予定しています。

参加希望者の人数によりバスの台数を決めさせていただきます。



参加ご希望の方は、同封別紙の申し込み用紙にご記入のうえFAX
または郵送で1月末迄に下記宛お送り下さい。

〒189-0002 青葉町2-9-8 風間和夫宛

TEL・FAX 394-5279

カラオケ同好会

世話人 内 藤 慎 TEL 393-5071
八 木 勝 利 394-5963

本年最後の例会を12月6日7時よりにぎやかに行いました。
少し早い忘年会を兼ねて、皆張り切り大いに盛り上がりました。

最初6名で始まりましたが遅れて小亀奥様も参加され華やかな一夜となりました。

初参加の相馬さん(ゴルフには参加しております)も渋い喉を披露されました。私ごとですがいつも古い歌ばかりなので今年の歌を5曲披露しました。皆様にも新曲に挑戦するようお願いいたします。

本会も発足以来1年が経過しました。皆様の歌も毎回毎回上達しているのがよく分かります。

参加は井垣、小野、小亀夫妻、小林、塩見、相馬、内藤、山下、八木の各氏でした。1月は新年会の後、次の要領で行います。



日時：1月10日(土) 19:00より

場所：シダックス東村山駅前クラブ

東村山市本町2-2-10 TEL042-395-7711

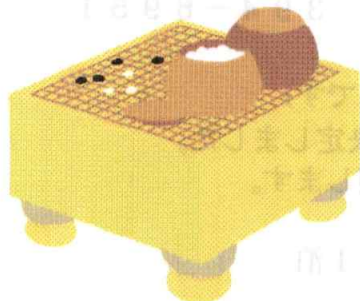
2月は2月7日(土) 19:00よりドレミにておこないます。

(内藤 記)

囲碁同好会

世話人 野村保夫
高鷲近

TEL 394-0417
394-2336



12月例会報告と2月大会のご案内

1) 12月例会は12月23日(火)の祭日、午後1時から、市民センター別館2階/第6会議室で行いました。

11名が参加し、新たに佐久間二段が新加入されました。

2) 2月の第8回大会は、

2月28日(土)午後1時～5時まで

いつもの市民センター別館第4会議室で開催と決まりました。奮ってご参加下さい。

麻雀同好会

世話人 小野智
田口政澄

TEL 391-9523
395-4077



2003年第四回麻雀大会は去る12月14日(日)、初参加の田島氏、一年振り復帰戦の大西相談役、谷城氏を迎え20雀士の五卓で盛大におこなわれました。

結果は優勝が3年振りに三宅雀士、準優勝松永、3位小野、4位当間、5位田口、6位長井、今回設定のラッキー7中川、真ん中で賞の10位山下、義士討ち入り日記念の14位鈴木(義)、BB柴田の雀士達でした。

表彰式後懇親、忘年会に入り、優勝の弁に続き各雀士の反省、来年の抱負、旅行会をはじめ他同好会の案内、恒例当間氏の熱弁あり、大いに盛り上がりました。そして最後は山下新会長の音頭で一本締め、目出度く2003年度の納会と相成りました。

なお、本年第一回大会は3月14日(日)と決まりました。

テニス同好会

世話人 当間昭治 TEL 391-6023



12月の例会は14日運動公園コートで実施。風もなく絶好のテニス日和で参加者5名(江藤夫妻、市川、鈴木義夫人、当間)、コート狭しと走り回りました。新年1月と2月の予定が決まりました。新メンバーの参加を期待しています。

記

日時: 1月18日(日) 午前9時～11時

場所: 久米川コート第3コート

日時: 2月 8日(日) 午後1時～3時

場所: 運動公園テニスコートB面

世話人 三宅良太 TEL 394-5298

記

場所：東村山市民スポーツセンター スポーツクラブ室

(貸し切りバス一泊2食付費用1人25,000円見当)

世話人 大西 幸夫 TEL 395-2817



12/19 忘年ゴルフ会

俳句同好会（稲酔会）

世話人 高 杉 修 391-8447

井 垣 和 太 396-3100

第11回の稲酔会句会は、12月28日（日）午後2時から久米川駅前の「丸藤」2階の部屋で開催されました。

参加者は、高杉風至、菊田一平、井垣稲雀、八木竜湖、柴田行春、大西回生、小亀稲生、風間幸雄、幸田瑞雄、丸本北窓、三宅良太の11名。投句参加の大野恵峰、塩見之一、2名を加え、同好会のオールスターが勢揃いしました。兼題「除夜」を含めて過去最高の65句の作品を互選、鑑賞し5時まで楽しい句会を進めました。夕刻から山下会長も顔を出され「こんなに真面目にやっていたのか」と感心して頂きました。

今回の最高点句には

靴洗ふ少女に揺るる冬日かな 竜湖
が選ばれました。

5時からは隣の大部屋に移り忘年会を挙行。良太さんの求めに応じて一人一人がこれまでの俳句歴を披露（と言っても大半が稲酔会が俳句入門のきっかけ）、俳号の由来などを明かしたりして、酒宴は尽きることなく盛り上がりを見せました。

第12回は、2月22日（日）午後1時から「恩多ふれあいセンター」で行います。

兼題は「春めく」です。 どなたでも気軽に参加してください。

なお、2年間世話人をして頂いた行春さんに代わり、1月から風至さんと共に稲雀が世話人をさせていただくことになりました。よろしくお願い申し上げます。

（稲雀 記）

ヨルフ同好会

世話人 井 垣 和 太 TEL 396-3100

○忘年ゴルフ（12／19）19番ホール盛り上がる

当会につきものの天気の話はもう要りません。年の暮れでこんなに暖かくて良いのかと思う絶好のコンデションの下で、「こだまゴルフクラブ」で行われた忘年ゴルフ会。参加者は以下の7名でした。

市川彰彦（S36文）、相馬信一（S36文）、高部素行（S35理工）津野慶浩（S37商）、内藤慎（S28商）、鍋島高明（S34政経）、井垣和太（S37商）、

金曜日で、プレーの流れも速く、1ラウンドが終わったのがなんと午後2時。汗を流してそのままコースを後にして一路東村山へ。所用の鍋島さんは残念ながら19番はリタイアでしたが、6人で4時間余り（井垣が青葉町で軽く事故っての遅刻は予定外）忘年ヨルフを楽しみました。一人が立ち上がってスウィングを実演すると「ここがポイント」「いやここが重要」と理論と実演百出。ついにはロンドで練習会をやろうと衆議一決。変な理論を身につけて、ますます泥沼に陥らなければ良いのですが。

さんざん飲んだあげくに相馬さんの隠し砦に乗り込んで、カラオケに張り切る1組もいて、超ロングホールの19番となりました。

（井垣 記）

「トトロ」の家を東村山へ



伊藤 友己 (昭52政経)

去る12月5日の朝日新聞朝刊に、スタジオジブリが映画「となりのトトロ」の主人公サツキとメイの家を05年3月開幕の愛知万博で再現するとの記事が掲載されました。記事には、万博終了後にこの『トトロの家』をどこかに残したいという担当プロデューサーの言葉も紹介されています。

ならば是非トトロともゆかりの深いこの東村山の地へ移築されることを市民の声として提案してみませんか？

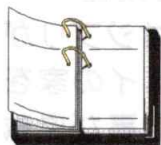
『トトロの家』は勿論宮崎監督のイメージの中の世界ですが、しかし戦後の一時期の狭山丘陵を中心とした地域の生活を思い出し深く描き出しています。私達の世代にとっても懐かしく、心の休まる情景です。子供達の為に、いえ私達の為にでも此の心のふるさとなる家を残してみませんか。

移築する場所、移築費、その後の管理費等幾つかの課題も有ります。行政にも色々な面をお願いしなければなりません。しかし厳しい財政事情の中で行政にだけ任せればよいという問題でもありません。

市民と行政とが知恵を出し合って『トトロの家』を東村山へ誘致したいと思います。既に細淵市長・渡部議長がスタジオ・ジブリへの要請を行いました。近く市民が一体となつての会を立ち上げる予定です。是非稲門会の皆様の知恵とお力をお貸し下さい。

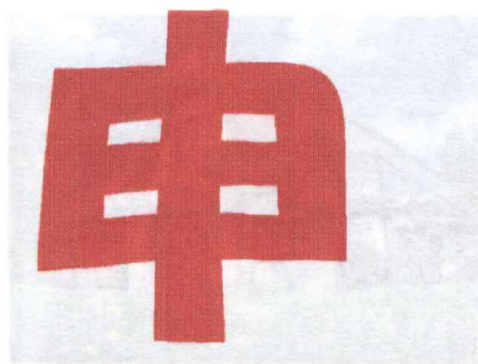
俳 壇

様々に足音のして除夜詣で 大野 恵峰
 冬入り日残照の富士探しおり 塩見 之一
 遠征の兵士ら想う除夜の鐘 菊田 一平
 師走風塵吹き払い青き穹 柴田 行春
 波の間に波の膨るる年の果て 高杉 風至
 大歳のひと出て神興蔵払ふ 井垣 稻雀
 陽溜りに遊ぶ仔猫や春近し 八木 竜湖
 盆梅のつぼみふくらむ日和かな 小 亀 稻生
 落石に耳すましをり底冷えす 丸 本 北窓
 年の夜や仕上げにすこし良き酒を 幸田 瑞雄
 老犬の足元暗き除夜詣 三宅 良太
 怪し氣の品も並べて歳の市 真鶴 或海
 靴洗ふ少女に揺るる冬日かな 照り残る黒き影絵の冬櫺
 筋描く息の長さに寒極む 不作なる今年も無事に暮れにけり
 同窓会初恋の顔幾歳ぶり 浄土寺や阿弥陀三尊冬日映え
 冬籠り君ふいに逝く報来る 真鶴や海面きらきら冬日暮れ
 蕎麦打って親子四代年の夜 九十九と言ひ張る母よ年の暮
 手を休め静坐で聴きし除夜の鐘 除夜の鐘妻長々と湯浴かな
 狭き州に鴨の集ひて日の暮るる 行く年をぶり大根で語りけり
 照り残る黒き影絵の冬櫺 幸田 瑞雄
 不作なる今年も無事に暮れにけり 三宅 良太
 浄土寺や阿弥陀三尊冬日映え 真鶴 或海
 真鶴や海面きらきら冬日暮れ



今月の予定

- 10日(土) 役員会
 雑学講座
 新年会
 カラオケ同好会
 11日(日) ヨガ同好会
 18日(土) 囲碁同好会
 テニス同好会
 25日(日) ヨガ同好会



編集局だより

編集局：井垣、伊藤、

東村山稲門会ニュースホームページ：<http://members.jcom.home.ne.jp/toumonkai>

○2004年、平成16年はどんな年になるのでしょうか？

年初からの首相の靖国神社参拝、自衛隊のイラク派兵（やはり派兵でしょう）、日本という国が一億総懺悔という名でかつて、そしてその後も棚上げにしてしまった事が今総決算を迫られていると言えるかもしれません。

誰か自分の言葉で、明確にこの国のあるべき姿を語れる政治家は居ないのでしょうか。独裁者の語る言葉でなく、熱意を持って自己の政治的信条を語れるそんな政治家の言葉が待たれます。しかし考えてみれば、他者に対して自己の信条を語るという訓練を、私達は受けてきたのでしょうか？ 次の世代の子供達に本当に自分たちで物を考え、自分たちのしたいことを自分たちの言葉で語り出せるそんな教育と環境を与えて居るのでしょうか？ 次の世代の大人達もこんなモヤモヤを抱えて生きて行くのでしょうか？

(伊 藤)

○次号の原稿締め切りは1月31日(土)とさせていただきます。(2/7発行予定)

○新年明けましておめでとうございます。今年もこの稲門会ニュースをよろしくお願い致します。もっともっと会員の皆様が心待ちをされるようなニュースにしていきたいと思っております。

○とはいうものの伊藤さんは仕事と精力的な社会活動にお忙しく、私は遊びと飲み会の誘いに弱く結構毎日をバタバタと過ごしておりますので、現状のニュースを継続するのに手一杯の形です。

○この82号も伊藤さんからメールで送られてきたのを開けようとしたら「添付ファイルが安全でないため、メールからのアクセスが削除されました」というメッセージが出て繋がらず、翌朝6:30に伊藤宅まで行ってCDで貰ってきた次第です。

○「なんでだろう？」という事の多い時代ですね。「セキュリティー」とか「個人情報の保護」とか、がんじがらめになって、その挙げ句みんなが蓑虫みたいになってしまいう社会も困りものですね。

○「胸襟を開き」「腹を割り」「おおらかに」「オープンに」して人と人の間で生きていくのが人間社会のと思うのですが、科学の進歩が早すぎて一寸間合いを詰めすぎたので少し距離を取り直す時代なのではないでしょうか。

(井 垣)